

令和6年度第1回香美市立図書館協議会 議事概要

- 日時 令和6年5月30日(木)
14時00分～16時00分
- 場所 香美市立図書館 かみーる
- 出席者 委員 中村直人(委員長)、田島基宏(副委員長)、岡村妙子、中嶋佳代、服部雄一郎、林田恵子
- 事務局 中山泰仁(教育次長)、小松幸春(生涯学習振興課長)、宇根由紀(生涯学習振興課地域教育班長)、松岡可奈(館長)、土居正和(主幹)、山重壮一(統括官)
- 内容 (1)令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画について
(2)令和5年度研修会参加実績について
(3)令和5年度図書館決算額および令和6年度図書館予算額について
(4)その他
・次回開催日程について

(1)令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画について

| 委員からの意見 |
|--|
| たくさんのイベントを開催していると思う。次回からはそれぞれのイベントの参加人数を記載してほしい。 |

(2)令和5年度研修会参加実績について

| 委員からの質問 | 事務局の回答 |
|--|--|
| 様々な研修が開催されているが、誰がどの研修に参加するのかをどのように決めているのか。 | 司書それぞれの経歴等を勘案し、今まで参加したことのない研修や、似た内容の研修があれば分散して参加するようにしている。 |

(3)令和5年度図書館決算額および令和6年度図書館予算額について

| 委員からの意見 |
|---|
| 基本計画では「5年後の努力目標としては、資料費をおおむね1,000万円とする」としている。しかし、書籍の予算を増やすのはなかなか難しいかもしれないので、雑誌スポンサーを増やしたり、経営を学び効率よく図書館をマネジメントする必要がある。昨今の物価高等もあり、コーヒー自販機については収支が赤字になるようなら値上げを検討すべきではないか。 |

・その他

| 委員からの意見 |
|---|
| 本館・香北分館・物部分館の貸出人数や貸出冊数の推移だけでなく、香美市の人口の推移についても示してほしい。 |
| 今後はますます電子デバイスを用いた読書や学習の機会が増えると思う。香美市立図書館は電子書籍を導入していないが、オーデビア高知図書館の電子書籍の利用についてもっと広報すべきではないか。家庭でもデジタルデバイスを利用しても教養のレベルが下がらないように利用について話し合うなど努力が必要である。 子供はみな端末を持っているので保護者にも協力してもらって図書館の本を予約する方法を学ぶ等電子機器をどのように使うかを家庭でも教えてもらいたい。 |
| かみーるには対面音訳・録音室があり、読書バリアフリーサービスが実施できる環境になっているが、利用者が少ないように見受けられる。必要な人に必要なサービスを提供できるよう広報し、ニーズを汲み取る必要がある。学校教育の段階で視覚障害等になっても読書ができる環境であるということを周知する必要がある。子供の頃から図書館の多面的な機能や文化的享受を受けるといことを知ってもらうことは大切であり、より多くの小中学校の生徒に利用カードを作ってもらわなければならないと思う。 |
| 図書館だけの問題ではないが、香北・物部から本館への公共交通機関によるアクセスについては、バスの本数も少ないし、値段も高く不便である。 |
| 香北分館は、現在基幹集落センターに移転しているが、スペースが狭く滞在しづらい。 |

| 委員からの質問 | 事務局 |
|------------------------------|--|
| 司書については女性の会計年度任用職員の数が多いのか。 | 全国的にみても人口2万人あたりの専任司書の数は1人もいないケースや8人いるところもあり、全国的にも相当開きがある。図書館の運営規模と専任司書の中身が不一致にならないように対応できる構造を考える必要がある。 |
| 対面音訳については要望があればすぐに対応できるのか。 | 対面音訳は人員を確保する必要があるため原則として事前申し込みが必要である。 |
| 日本は欧米と比べてオーディオブックが少ないのではないか。 | 欧米は以前から車での通勤中にオーディオブックを聞く習慣があるが、日本ではそうではない。香美市立図書館でも朗読CDを購入しているが出版数が少ない。 |

・次回開催日程について

| |
|--|
| <p>次回開催日程は下記のとおりとする。 9月19日(第3木曜日)14時～16時</p> |
|--|

連絡事項

| |
|----|
| なし |
|----|